

キンボール

KIN-BALL (キンボール) は、直径 122cm、重さはわずか約 1kg のボールです。4 人 1 組で構成されたチーム（ピンク、グレー、ブラックに色分けされた 3 チーム）が 13~21m×16~21m のコートサイズ内でヒット（サーブ）やレシーブを繰り返すゲームです。

場所（屋内）

- 体育館など

人数

- 12 人（4 人×3 チーム）

用具

- キンボール
- ブロフ（空気入れ）
- ゼッケン（3 色×最低 4 枚以上）
- スコアボード



競技方法(主なルール)

- ① ピンク、ブラック、グレーの 3 チームで競います。
- ② あらかじめ各チーム毎にチームカラーを示すゼッケンを着用します。
- ③ 各チームのキャプテンがジャンケンをし、勝ったチームがサーブ権を得ます。
- ④ 試合の開始は審判の合図（笛）により開始します。
- ⑤ コートの中央でサーブチームの 3 名（サーバー以外の全員）がボールを支え、残りの 1 名がサーブ（手または腕のみ使用）します。
- ⑥ サーブはサーブチームの 1 名が必ず「オムニキン」と言い、続いて「レシーブチームの色」をサーブ前に大きな声でコールしてからサーブします。
- ⑦ サーブされたボールは指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブ（全身使用可）します。
- ⑧ レシーブした後、ボールを持って走ることもチームメイトにパスすることもできます。
- ⑨ サーブ・レシーブに失敗すると、失敗したチーム以外の 2 チームに 1 点ずつ加算されます。
- ⑩ ゲームの再開は、レシーブ失敗・反則をしたチームがサーブをして再開します。
- ⑪ ゲーム途中でもタイムキーパーの合図でセット終了となります。
- ⑫ 第 2 セット、第 3 セットスタート時は、前のセットまでの得点の低いチームが、サーブ権を得ます。同点の場合はジャンケンで決めます。
- ⑬ 3 セットを行いゲーム終了となります。

★反則について

《サーブ時》

- サーブの瞬間、味方のメンバー全員ボールに触れていなければならない。
- 1 人が続けて 2 回サーブできない。
- サーブは床と平行以上の角度でボールを 1.8m 以上飛ばさなければならない。
- 審判にも聞こえない小さなコールの場合。

《レシーブ時》

- レシーブした後、ボールを持って走ることもチームメイトにパスすることもできるが、3 人目がボールに触れたらその場から動かすことはできない。
- 1 人目がレシーブの為にボールに触れてから、10 秒以内に 3 人目がボールに触れなければならない。
- レシーブするチームの 3 人目がボールに触れた後は、5 秒以内にサーブしなければならない。
- ボールを両腕に抱え込んで持ってはならない。
- レシーブの瞬間、コートの外に出てはならない。
- 上記反則を犯した場合、他の 2 チームに 1 点が与えられる。

